



SAP BusinessObjects ウィジェットユーザガイド

■ SAP BusinessObjects Business Intelligence platform 4.0

2011-07-13

著作権

© 2011 SAP AG. All rights reserved. SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP BusinessObjects Explorer、StreamWork、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP AG の商標または登録商標です。Business Objects および Business Objects ロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他の Business Objects 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Business Objects Software Ltd. の商標または登録商標です。Business Objects は SAP の子会社です。Sybase および Adaptive Server、iAnywhere、Sybase 365、SQL Anywhere、および本書で引用されている Sybase 製品およびサービス、ならびにそれぞれのロゴも含めて、Sybase, Inc. の商標または登録商標です。Sybase は SAP の子会社です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。これらの文書は SAP AG およびその関連会社（「SAP グループ」）が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP グループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP グループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2011-07-13

目次

第 1 章	ウィジェットの理解.....	5
1.1	ウィジェット用コンテンツ作成のためのガイドライン.....	5
第 2 章	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットのインストール.....	7
第 3 章	リポジトリ接続の管理.....	9
3.1	リポジトリ接続を管理する.....	9
3.1.1	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する.....	10
3.1.2	SAP NetWeaver Application Server 接続認証情報を入力する.....	11
第 4 章	ウィジェット用 Web Dynpro アプリケーションの設定.....	13
4.1	SAP NetWeaver Application Server 上でウィジェットを有効化する.....	13
4.2	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールおよび設定する.....	14
第 5 章	コンテンツへのアクセス.....	17
5.1	リポジトリへのログイン.....	17
5.2	SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリを検索する.....	17
5.2.1	検索結果の管理.....	18
5.3	リポジトリ内のコンテンツの展開.....	18
第 6 章	ウィジェットの作成.....	21
6.1	リポジトリ内の Dashboard Design ファイルからウィジェットを作成する.....	21
6.2	ローカルの Dashboard Design SWF ファイルからウィジェットを作成する.....	21
6.3	Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成する.....	22
6.3.1	Web Intelligence ウィンドウの使用.....	22
6.4	Web Dynpro アプリケーションからウィジェットを作成する.....	23
第 7 章	ウィジェットの管理.....	25
7.1	ウィジェットを表示する.....	25
7.2	デスクトップでウィジェットを配置する.....	25

7.3	ウィジェットを開く.....	26
7.4	ウィジェットを閉じる.....	26
7.5	ウィジェット履歴をクリアする.....	26
7.6	ウィジェットを共有する.....	27
7.7	ウィジェットの名前を変更する.....	27
7.8	Web Intelligence ウィジェットを最新表示する.....	28
7.9	Web Intelligence コンテンツをドラッグアンドドロップする.....	28
7.10	Web Intelligence ウィジェットのコンテンツをコピーして貼り付ける.....	29
7.11	Web Intelligence ウィジェットのプロンプトを表示して設定する.....	29
7.12	Windows サイドバーにウィジェットを追加する.....	29
7.13	ウィジェットビューの使用.....	30
7.13.1	ビューを作成する.....	30
7.13.2	ウィジェットビューを変更する.....	30
7.13.3	ビューバーの表示/非表示を切り替える.....	30
7.13.4	ビューバーを使用する.....	31
第 8 章	RSS フィードの使用	33
8.1	RSS フィードを購読する.....	33
8.2	RSS フィードを最新表示する.....	33
8.2.1	RSS 受信ボックスから RSS フィードを削除する.....	33
付録 A	より詳しい情報.....	35
	索引	37

ウィジェットの理解

ウィジェットとは、頻繁に使用される機能に簡単に素早くアクセスすることができ、デスクトップからビジュアルな情報を得られるようにするミニアプリケーションです。SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのウィジェット機能により、社内の誰もが SAP NetWeaver Application Server の BI プラットフォームおよび Web Dynpro アプリケーションにある企業の既存のビジネスインテリジェンス (BI) コンテンツにアクセスできるようになります。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム用ウィジェットを使用して、Web Intelligence ドキュメント、Dashboard Design モデルおよび Web Dynpro アプリケーションなどの既存のコンテンツを検索または参照し、必要なときにすぐに利用できるように、デスクトップにキー情報を貼り付けます。

ウィジェットとして、コンテンツはウィジェットフレームワークから次の機能を取得します。

- ・ ユーザが制御するサイズと位置設定
- ・ 自動最新表示
- ・ 上部のアプリケーションウィンドウとしてのオプション設定
- ・ 完全な SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームセキュリティ (Web Intelligence レポートパーツおよび Dashboard Design モデルのみ)
- ・ 表示の保存
- ・ データコンテキストステータスの保存 (Web Intelligence レポートパーツのみ)
- ・ 詳細なレポートへの Web Intelligence OpenDocument リンク (Web Intelligence ドキュメントのみ)
- ・ タブ付きビュー

1.1 ウィジェット用コンテンツ作成のためのガイドライン

理想的なウィジェットとは、使用頻度や更新頻度の高いメジャーまたはメトリクスをビジュアルに表示する、軽量のウィジェットです。

ウィジェットに適したものであるためには、BI コンテンツが次の条件を満たしている必要があります。

- ・ 情報が頻繁に変更され、一日を通してモニタリングする必要がある。
- ・ 情報の表示が、パフォーマンスを評価するのに適している。
- ・ コンテンツが、アクションの必要性を判断するのに十分な情報を提供する。

できるだけ多くの情報を含めようとしても、多すぎる情報は、素早く状況を判断する力の妨げとなることがあります。

ヒント

ウィジェットに表示するデータの量が多い場合は、最も重要で頻繁に更新される情報のみ表示することを検討し、サポート情報へのリンクを追加します。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向け ウィジェットのインストール


SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェットは、各ユーザのコンピュータにインストールする必要があります。ユーザが各自のシステムでウィジェットセットアッププログラムを実行するか、システム管理者がネットワークを通じてすべてのコンピュータにプログラムをインストールするために、サイレントインストールを実行することができます。

さらに、Web Dynpro アプリケーションにアクセスするため、管理者は SAP NetWeaver Application Server でこれらのアプリケーションをウィジェットとして設定する必要があります。

ウィジェットは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールのセットアッププログラムで、デスクトップクライアントアプリケーションの一部としてインストールされます。ウィジェットにアクセスするには、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールする必要があります。このツールのインストール方法については、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームインストールガイド』の『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.0 クライアントツールのインストール』トピックを参照してください。

リポジトリ接続の管理

ウィジェットを使用して SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームと SAP NetWeaver Application Server のコンテンツにアクセスするには、リポジトリに接続しておく必要があります。[ホストとログインの基本設定]ダイアログボックスを使用し、必要に応じて、接続の追加、編集、削除、およびリポジトリへの接続または接続解除を行うことができます。追加のリポジトリへの接続を追加して、デスクトップで複数のソースからのデータを表示することができます。


ウィジェットの機能はバックグラウンドで動作するプロセスであり、セットアップしたサーバーに接続された状態を維持します。Windows タスクバーにあるウィジェットボタン () が接続ステータスを表示します。

- ・ ログイン中は、アイコンが緑色で点滅します。
- ・ 接続がアクティブな場合は赤になります。

警告

サーバ接続が失われた場合、ウィジェットボタンの色は変わりません。サーバドキュメントが表示されない場合、ウィジェットボタンを右クリックし、[ホストとログインの基本設定]をクリックしてサーバ接続の詳細を確認し、必要に応じて再接続します。

3.1 リポジトリ接続を管理する

- 1 [ウィジェット] ボタンを右クリックして、  [ホストとログインの基本設定] を選択します。
- 2 [ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します。

オプション	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続の追加	<p>[新規] > [SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム] の順にクリックして、[認証情報] ダイアログボックスに接続情報を入力します。[OK] をクリックします。</p> <p>詳細については、10 ページの「SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する」を参照してください。</p>
SAP NetWeaver Application Server 接続の追加	<p>[新規] > [SAP NetWeaver Application Server] の順にクリックして、[認証情報] ダイアログボックスに接続情報を入力します。[OK] をクリックします。</p> <p>詳細については、11 ページの「SAP NetWeaver Application Server 接続認証情報を入力する」を参照してください。</p>
接続の削除	<p>接続を選択し、[削除] をクリックします。</p> <p>[ホストの削除] ダイアログボックスで、[はい] をクリックします。</p>
リポジトリへの接続または接続解除	接続を選択し、[接続] または [接続解除] をクリックします。
接続の編集	<p>接続を選択し、[編集] をクリックします。[認証情報] ダイアログボックスで変更を行い [OK] をクリックします。</p> <p>注 接続の名前は変更できません。</p>

3.1.1 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続認証情報を入力する

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリに接続するには、ログオン認証情報を入力する必要があります。これらの手順を実行して、BI プラットフォーム接続の接続認証情報を設定してください。

- 1 [認証情報] ダイアログボックスが表示されていない場合は、ウィジェットボタンを右クリックして [ホストとログインの基本設定] を選択します。
- 2 [ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスで、[新規] > [SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム] をクリックします。
- 3 [認証情報] ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

オプション	説明
ホスト名	BI プラットフォームサーバの名前を入力します。
ホスト URL	Web サービスの URL を入力します。 注 [ホスト名] ボックスに値を入力すると、この値が自動的に入力されます。
ユーザ名	ホストサーバにアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	ホストサーバにアクセスするためのパスワードを入力します。
認証	この値は、接続が確立されるとホストによって更新されます。
自動的にサインインする	ウィジェット機能の起動時にこのリポジトリに自動的にサインインする場合、このオプションを選択してください。

4 [OK] をクリックします。

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム接続が [ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスの接続の一覧に追加され、ウィジェットが指定された認証情報によるログオンを試みます。

3.1.2 SAP NetWeaver Application Server 接続認証情報を入力する

SAP NetWeaver Application Server に接続するには、ログオン認証情報を入力する必要があります。これらの手順を実行して、SAP NetWeaver Application Server 接続の接続認証情報を設定してください。

- 1 [認証情報] ダイアログボックスが表示されていない場合は、ウィジェットボタンを右クリックして [ホストとログインの基本設定] を選択します。
- 2 [ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスで、[新規] > [SAP NetWeaver Application Server] をクリックします。
- 3 [認証情報] ダイアログボックスで、次の情報を入力します。

オプション	説明
クライアント	アプリケーションサーバのクライアント番号を入力します。
ホスト名	SAP NetWeaver Application Server の名前とサーバのポートを入力します。 例: <サーバ名>:<ポート>
ホスト URL	アプリケーション URL を入力します。 注 [ホスト名] ボックスに値を入力すると、この値が自動的に入力されます。
ユーザ名	ホストサーバにアクセスするためのユーザ名を入力します。

オプション	説明
パスワード	ホストサーバにアクセスするためのパスワードを入力します。
認証	サーバでサポートされている認証を表示します。
自動的にサインインする	ウィジェット機能の起動時にこのリポジトリに自動的にサインインする場合、このオプションを選択してください。

4 [OK] をクリックします。

SAP NetWeaver Application Server 接続は、[ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスの接続の一覧に追加されます。

ウィジェット用 Web Dynpro アプリケーションの設定

SAP ウィジェットのユーザが、Web Dynpro アプリケーションをウィジェットで使えるようにする前に、SAP NetWeaver 管理者はアプリケーションをウィジェットとして使用可能にする必要があります。SAP Web Dynpro Flex Client サポートについては、『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド』の『SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム向けウィジェット』のトピックを参照してください。

4.1 SAP NetWeaver Application Server 上でウィジェットを有効化する

Web Dynpro アプリケーションをウィジェットとして利用可能にするために、管理者は SAP NetWeaver Application Server でウィジェットアプリケーションを設定して有効にする必要があります。

このタスクは、管理者権限を持つユーザだけが実行できます。

- 1 [SAP ログオン] を開きます。
[SAP ログオン] ウィンドウが表示されます。
- 2 [新規項目] をクリックします。
[システムエントリの新規作成] ウィンドウに [SID] および [説明] ボックスが表示されます。
- 3 [検索項目] フィールドに、ウィジェットで使用可能にするアプリケーションを含む SAP NetWeaver サーバの名前を入力し、サーバシステムが選択されている場合、[次へ] をクリックします。

注

[システム] タブで、ウィジェットで使用可能にするアプリケーションを含む SAP NetWeaver サーバをダブルクリックすることもできます。

[グループ/サーバ] ページにサーバ一覧が表示されます。

- 4 [PUBLIC] が選択されていることを確認して、[完了] をクリックします。
[SAP ログオン] ウィンドウにサーバシステムが表示されます。
- 5 [SAP ログオン] ウィンドウで、今追加した SAP NetWeaver Application Server をダブルクリックします。
SAP バックエンドサーバログオンページが表示されます。
- 6 SAP バックエンドサーバにログオンして、Enter キーを押します。
- 7 [SAP Easy Access] ページに進み、ツールバー上のボックスにトランザクションコードを入力し、Enter キーを押します。
[Administrator] トランザクションページが表示されます。
- 8 [標準] タイプが選択されていることを確認して、[実行] をクリックします。

["アプリケーション ID の更新" ビューの表示: 概要] トランザクションアクセスページが表示されます。

- 9 トランザクションアクセスページツールバーで、[表示] > [変更] をクリックします。
[情報] ダイアログボックスが表示されます。
- 10 [続行] をクリックします。[トランザクションアクセス] ツールバーに新しいオプションのセットが表示されます。
- 11 トランザクションアクセスツールバーで、[ウィジェット管理者] をクリックします。
[ウィジェット管理] ダイアログボックスが表示されます。
- 12 ウィジェットとして有効にするアプリケーションを選択し、[設定を保存] をクリックします。

注

ポータルが Java ベースの場合、SAP NetWeaver ポータルの URL を入力してください。

選択したアプリケーションが [アプリケーション ID の保持] ページに表示されます。

注

ウィジェットとして有効にするために選択したアプリケーションが、これらのアプリケーションへのアクセス権を割り当てられているユーザに対して利用可能になります。"ロールメニュー" への WebDynpro アプリケーションの割り当てについては、<http://help.sap.com> で入手可能な『SAP NetWeaver Business Client 1.0 (PFCG 接続)』ドキュメンテーションの『PFCG: メニュー』トピックを参照してください。

これで、次のサーバ情報を他のユーザに提供することができます。

- ・ クライアント: SAP ABAP システムクライアントの情報
- ・ ホスト名: SAP ABAP システムのサーバおよびポートの情報

4.2 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールをインストールおよび設定する

注

以下のサーバ情報については、システム管理者にお問い合わせください。

- ・ クライアント: SAP ABAP システムクライアントの情報
- ・ ホスト名: SAP ABAP システムのサーバおよびポートの情報

SAP BOE デスクトップクライアントツールを設定するときには、ウィジェットを検索して実行するサーバと、これらのサーバに対するログイン認証情報も指定します。最初の設定時またはその設定以降に、サーバを追加することができます。

- 1 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームクライアントツールの setup.exe プログラムを実行します。
setup.exe プログラムによって BI プラットフォームクライアントツールが自分のマシンにインストールされます。
- 2 [SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム] > [SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム] > [ウィジェット] を実行してください。
[ウィジェット] アイコンがシステムトレイに表示されます。
- 3 システムトレイから、[ウィジェット] アイコンを右クリックして [ホストとログインの基本設定] を選択します。

- 4 [新規] をクリックし、[SAP NetWeaver Application Server] を選択します。
[認証情報] ダイアログボックスが表示されます。
- 5 [クライアント]、[ホスト名] および [ホスト URL] ボックスに、管理者から提供された認証情報を入力します。
ホスト URL は自動的に生成されます。管理者が変更を求め、使用する URL を提供する場合にのみ、ホスト URL をこの情報に置き換えます。ホスト URL は、標準プロトコルまたはセキュア (SSO) プロトコルのどちらかで認証されます。
- 6 [ユーザ名] と [パスワード フィールド] にそれぞれユーザ名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- 7 システムトレイから、[ウィジェット] を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ] を選択します。
[ドキュメント一覧エクスプローラ] ウィンドウに、設定したサーバで利用できるウィジェットの一覧が表示されます。

注

管理者によって自分に割り当てられたウィジェットのみを使用できます。


- 8 ウィジェットをダブルクリックして実行します。

コンテンツへのアクセス

ウィジェット機能が SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリに接続されている場合、Dashboard Design モデルまたは Web Intelligence レポートパーツをデスクトップに表示するウィジェットを作成することができます。また、Crystal Reports、Microsoft Excel、Microsoft Word、Microsoft PowerPoint、および Adobe PDF を含むさまざまな形式で、情報を見るために、使用可能なリポジトリを検索および閲覧することができます。

ウィジェット機能が SAP NetWeaver Application Server に接続されている場合、Web Dynpro アプリケーションも取得することができます。

5.1 リポジトリへのログイン

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームまたは SAP NetWeaver Application Server 内の BI コンテンツにアクセスするには、ウィジェット機能がサーバにログインしている必要があります。接続が自動的にログインするように設定している場合、ウィジェット機能の起動時にログインします。自動ログインを設定していない場合、Windows の通知領域で [ウィジェット] ボタン () を右クリックして [ログイン] を選択することで、すべての設定済みリポジトリにログインすることができます。

特定のリポジトリにログインする場合、[ウィジェット] ボタンを右クリックして、[ホストとログインの基本設定] を選択します。[ホストとログインの基本設定] ダイアログボックスで、サーバーを選択して [接続] をクリックします。

リポジトリ接続が一つもない場合、[ウィジェット] アイコンを右クリックして [ログイン] をクリックすると、接続情報を入力できるように [認証情報] ダイアログボックスが表示されます。

5.2 SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリを検索する

ウィジェットの機能を使用すると、接続している SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームリポジトリ全体を一度に検索することができます。

注

SAP NetWeaver Application Server 内を検索することはできません。Web Dynpro アプリケーションを検索するには、18 ページの [「リポジトリ内のコンテンツの展開」](#) を参照してください。

- 1 Windows のタスクバーで、ウィジェットボタン () を右クリックし、[コンテンツ検索] を選択します。
- 2 検索条件を入力し、検索ボタンをクリックします。

ヒント

特定のサーバーのみを検索する場合は、[検索]ダイアログボックスで、ドロップダウンメニューからサーバー名を選択します。

5.2.1 検索結果の管理

[検索結果]ウィンドウには、[エクスプローラ]ペインおよびタイトルペインが含まれます。

タイトルペインには、検索結果が関連度順、つまり、検索条件に対するコンテンツの一致度の順で一覧表示されます。並べ替え順序を変更するには、基準にする列(タイトル、スコア、パス、またはデータの更新日時)の列見出しをクリックします。

ファセット検索を使用して、検索結果をさらに細かく指定することができます。[エクスプローラ] ペインには、検索結果とツリービューが表示されます。このツリービューには、現在の検索結果のフィルタに使用できる結果履歴とファセット分類が表示されます。特定の分類の結果のみを表示するには、ファセットをクリックします。

ヒント


各ファセットの横にあるかっこ内の数字は、その分類内で見つかったアイテム数を表しています。

ウィジェット機能は、前回の検索結果を保持しているので、それらのアイテムを簡単に再検索することができます。保存されている検索を保持する必要がなくなった場合は、次のいずれかを実行します。

- ・ 選択された結果を[エクスプローラ]ペインから削除するには、[検索結果を削除]をクリックします。
- ・ 保存されている検索結果をすべて削除するには、[履歴を削除]をクリックします。

5.3 リポジトリ内のコンテンツの展開

ドキュメント一覧エクスプローラを使用して、接続されているすべてのサーバーのコンテンツを参照することができます。エクスプローラは、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームおよび SAP NetWeaver Application Server 接続を含め、接続されている複数のサーバーで、フォルダおよびカテゴリを安全に移動します。

リポジトリ内のコンテンツを参照するには、ウィジェットボタン()を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ]を選択します。

エクスプローラの表示をカスタマイズするには、次のいずれかの手順に従います。

- ・ カテゴリで結果をグループ化するには、[カテゴリの表示] をクリックします。
- ・ フォルダ内の結果を整理するには、[フォルダビュー] をクリックします。
- ・ 結果一覧を最新表示にするには、[最新表示] をクリックします。
- ・ 表示モードを設定するには、[アイコン]、[一覧] または [詳細] を選択します。

一覧でアイテムを開くには、アイテムをダブルクリックします。ドキュメントの種類によって、アイテムは次のように開きます。

ドキュメントの種類	表示
Web Intelligence	新しいウィンドウで開きます。
Dashboard Design モデル	エクスプローラ表示パネル内で開きます。
Crystal レポート、BI ワークスペース、およびモジュール	ブラウザウィンドウで開きます。
Adobe PDF、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint	関連づけられたアプリケーションで開きます。
SAP XBCML ウィジェット	ウィジェットをデスクトップに追加します。

ヒント

Web Intelligence および Dashboard Design ドキュメントの場合、ウィジェットを作成するためにデスクトップにドラッグすることもできます。

ウィジェットの作成

リポジトリの検索結果またはエクスプローラから、Web Intelligence ドキュメントおよび Dashboard Design モデルをデスクトップにドラッグするか XBCML ウィジェットをダブルクリックすることにより、デスクトップウィジェットを作成することができます。

注



Crystal レポート、BI ワークスペース、モジュールからはウィジェットを作成できませんが、ウィジェット検索またはエクスプローラウィンドウからこれらのドキュメントを開くことはできます。また、Adobe PDF、Microsoft Word、Microsoft Excel、および Microsoft PowerPoint ドキュメントも開くことができます。

6.1 リポジトリ内の Dashboard Design ファイルからウィジェットを作成する

リポジトリ内のファイルにアクセスするには、ウィジェット機能が SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームにログインしている必要があります。

デスクトップウィジェットを作成するのに、BI プラットフォームリポジトリで使用可能な Dashboard Design ファイルを使用することができます。作成されたウィジェットはソースファイルにリンクしているので、リポジトリのデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。

1 次のいずれかを実行します。


- ・ ファイルを検索するには、ウィジェットボタン()を右クリックして、[コンテンツ検索]を選択します。
- ・ ファイルを参照するには、[ウィジェット]ボタン()を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ]を選択します。

2 次のいずれかの方法で、ウィジェットを作成できます。

- ・ 検索結果一覧から、Dashboard Design ファイルをダブルクリックする。
- ・ [エクスプローラ] ペインから、Dashboard Design ファイルをデスクトップにドラッグする。
- ・ [エクスプローラ] ペインから、ビューアペイン内で Dashboard Design ファイルをダブルクリックして開いてから、デスクトップにドラッグする。

6.2 ローカルの Dashboard Design SWF ファイルからウィジェットを作成する

SAP Dashboard Design では、Dashboard Design モデルを SWF ファイルとしてエクスポートできます。Web サイトやその他のソースから、電子メールで Dashboard Design SWF ファイルを受信したら、それをウィジェットにインポートして、デスクトップウィジェットを作成することができます。ウィジェットを作成すると、ソースの Dashboard Design ドキュメントにリンクされます。ソースファイルでデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。

- 1 ウィジェットボタン () を右クリックして、[ディスクからウィジェットを開く] を選択します。
- 2 Dashboard Design SWF ファイルの保存場所に移動します。
- 3 [ウィジェットを開く] ダイアログボックスで、[ファイルタイプ] を Flash ファイル (*.swf) に変更します。
- 4 SWF ファイルをダブルクリックして開きます。


Dashboard Design SWF ファイルが、ウィジェットとしてデスクトップ上に表示されます。

6.3 Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成する

使用可能なリポジトリに Web Intelligence ドキュメントがある場合、そのレポートパーツからデスクトップウィジェットまたは Microsoft Outlook オブジェクトを作成することができます。ウィジェットはリポジトリ内のソースとなる Web Intelligence ドキュメントにリンクされているので、ソースデータが変更されると、ウィジェットが更新されます。

注

Microsoft Outlook オブジェクトを使用するには、Outlook がテキストエディタとして Microsoft Word を使用して、HTML 形式のメッセージを使用するように設定しておく必要があります。

- 1 次のいずれかの操作を実行します。
 - ・ ドキュメントを検索するには、ウィジェットボタン () を右クリックして、[コンテンツ検索] を選択します。
 - ・ ドキュメントを参照するには、ウィジェットボタンを右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ] を選択します。
- 2 ドキュメントをダブルクリックすると、Web Intelligence ビューア内に表示されます。
- 3 次のいずれかの操作を実行します。
 - ・ ウィジェットを作成するには、レポートをビューアからデスクトップにドラッグします。

6.3.1 Web Intelligence ウィンドウの使用

[Web Intelligence] ウィンドウの上部には、次の操作が可能なツールバーがあります。

- ・ ズームレベルの変更
- ・ 特定のテキスト文字列の検索
- ・ レポートページの変更
- ・ レポートマップの表示/非表示


- ・ レポート表示のページモードと一覧モードの切り替え
- ・ オブジェクトの右クリック操作による、ビューアからのセル、チャート、またはテーブルの単一コンテンツのコピー

ナビゲーションペインには、ドキュメントで利用できるレポートの一覧が表示されます。現在選択しているレポートが強調表示されます。ナビゲーションマップを使用すると、レポートやレポートセクションに移動できます。ビューペインは、ナビゲーションペインの一覧で選択した項目と自動的に同期されます。

6.4 Web Dynpro アプリケーションからウィジェットを作成する

リポジトリ内のファイルにアクセスするには、ウィジェットが SAP NetWeaver Application Server リポジトリにログインしている必要があります。

XBCML ウィジェットとして登録されている Web Dynpro アプリケーションを、デスクトップウィジェットとして SAP NetWeaver Application Server に追加することができます。追加されたウィジェットはソースファイルにリンクしているので、リポジトリのデータが変更されると、指定された更新スケジュールに従って、デスクトップウィジェットが更新されます。


- 1 ウィジェットボタン () を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ] を選択します。
- 2 [エクスプローラ] ペインで、XBCML ウィジェットファイルをダブルクリックしてデスクトップに追加します。

ウィジェットの管理


デスクトップにウィジェットを追加した後、ウィジェットの位置の調節、表示/非表示の切り替え、ウィジェットサイドバーへの追加、デスクトップに表示される情報を管理するためのウィジェットビューの作成が可能となります。

7.1 ウィジェットを表示する

いったんウィジェットが作成されてデスクトップに追加されると、ウィジェットを閉じるまでデスクトップに表示されています。ただし、他のアプリケーションで作業する場合、これらのアプリケーションでウィジェットが隠れてしまう場合があります。ウィジェットを表示して確認できるように、画面の最前面に移動することができます。他のアプリケーションがウィジェットで隠れてしまわないようにする場合、ウィジェットを常に前面に表示するように、ウィジェットの基本設定を変更しておくこともできます。


- ・ ウィジェットを表示するには、次のいずれかを実行します。
 - ・ Shift + F12 キーを押す。
 - ・ ウィジェットボタン () を右クリックして、[ウィジェットの表示] をクリックする。

ウィジェットを常に他のアプリケーションより前面に表示するには、次の手順に従います。

- a マウスイカーソルをウィジェット上に移動して、ウィジェットの右にあるプロパティボタン () をクリックします。
- b [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスの[その他]から、[常に手前に表示] オプションを選択します。
- c [OK] をクリックします。


7.2 デスクトップでウィジェットを配置する

デスクトップにウィジェットを追加したら、その他の作業を妨げないように、ウィジェットを移動したりサイズを変更したりすることができます。デフォルトでは、ほかのアプリケーションをクリックすると、ウィジェットは画面の背面に送られます。作業中にウィジェットを表示しておくには、ウィジェットの[プロパティ] ダイアログボックスの[常に手前に表示] オプションを選択します。

- ・ ウィジェットを移動するには、ウィジェットをクリックして、任意の位置にドラッグします。
- ・ ウィジェットのサイズを変更するには、ウィジェット上にマウスイカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、サイズ変更ボタン () をドラッグしてウィジェットのサイズを変更します。


注

ウィジェットの幅と高さは比例して調節され、フォントサイズもウィジェットのサイズに合わせて調節されます。

- ・ ウィジェットを画面の最前面に表示するには、Shift + F12 キーを押します。
- ・ ほかのアプリケーションで作業している間も、ウィジェットを表示させておくには、次の手順に従います。
 - 1 ウィジェット上にマウスカースルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン ()。
 - 2 [ウィジェットのプロパティ]ダイアログボックスの[その他]の下で、[常に手前に表示]を選択します。
 - 3 [OK] をクリックします。

7.3 ウィジェットを開く

以前にウィジェットを閉じた場合、ディスク、リポジトリ、ウィジェット履歴からそのウィジェットを開くことができます。

- ・ Windows のタスクバーで、ウィジェットボタン () を右クリックして、次のいずれかを実行します。
 - ・ 履歴からウィジェットを開くには、[最新のウィジェット]をポイントし、一覧からウィジェットをクリックします。


注

[最新のウィジェット]一覧には、最近使用したウィジェットが 5 個まで表示されます。最新のウィジェットをさらに表示するには、[その他]をクリックします。[履歴]ダイアログボックスには、最近使用したウィジェットが 50 個まで表示されます。

- ・ ディスクからウィジェットを開くには、[ディスクからウィジェットを開く]をポイントします。[ウィジェットを開く]ダイアログボックスで、ウィジェットの場所を参照してファイルを選択し、[開く]をクリックします。

7.4 ウィジェットを閉じる


デスクトップにウィジェットを表示しないようにする場合、ウィジェットを閉じます。ウィジェットを閉じても、システムから削除されるわけではなく、ウィジェットを再度開けば、またデスクトップに表示されます。

- 1 ウィジェット上にマウスカースルを移動します。
ウィジェットの右側に [ウィジェット] メニューが表示されます。
- 2 [ウィジェット]メニューの上部にある閉じるボタン () をクリックします。
- 3 [はい] をクリックします。

ウィジェットが閉じて、デスクトップには表示されなくなります。


7.5 ウィジェット履歴をクリアする

ウィジェット履歴には、デスクトップで使用された最新 50 個のウィジェットが保持されます。デスクトップからウィジェットを削除しても、そのウィジェットをウィジェット履歴から簡単に再度開くことができます。以前に使用したウィジェットをそれ以上履歴に残さない場合は、履歴をクリアすることができます。

- 1 Windows の通知領域のウィジェットボタン () を右クリックして、[最新のウィジェット] > [その他] をクリックします。
- 2 [履歴] ダイアログボックスで、[クリア] をクリックします。

7.6 ウィジェットを共有する

レポートパーツと Dashboard Design ウィジェットは、他のユーザと共有できます。最初に、ウィジェットを .bidml ファイルとして保存してから、そのファイルを他のユーザに電子メールで送ります。受信者がファイルをダブルクリックすると、ウィジェットにアクセスできます。

- 1 ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン () をクリックします。
- 2 [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスの [エクスポートオプション] の下で、[保存] をクリックします。
- 3 [ウィジェットの保存] ダイアログボックスで、ファイルの保存場所に移動し、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。

これで、このファイルを他のユーザに電子メールで送ることができます。


ウィジェットが .bidml ファイルとして保存されます。

注

[プロパティ] メニュー上にあるマウスは XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

7.7 ウィジェットの名前を変更する

ウィジェット名は、最新ウィジェットの一覧およびウィジェット履歴に表示されます。

- 1 ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン () をクリックします。
- 2 [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスで、[ウィジェット名] ボックスにウィジェットの名前を入力します。
- 3 [OK] をクリックします。

注


[プロパティ] メニュー上にあるマウスは XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

7.8 Web Intelligence ウィジェットを最新表示する

Web Intelligence ドキュメントからウィジェットを作成した場合、ウィジェット内のデータの最新表示方法と頻度を指定することができます。

注

Dashboard Design ウィジェットのデータは、Dashboard Design モデルの設定に基づいて最新表示されます。

- 1 Web Intelligence ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン () をクリックします。
- 2 [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスの[最新表示オプション]から、次のオプションのいずれかを選択します。
 - ・ リポジトリ内の Web Intelligence ドキュメントの最新インスタンスから更新するには、[最新のインスタンスからデータを取得する]を選択します。
 - ・ ソースデータベースからデータを更新するには、[データベースから直接データを最新表示する]を選択します。

注

[プロパティ] メニュー上にあるマウスは XBCML ウィジェットには使用できません。この機能は、Web Dynpro アプリケーションを使用して作成された XBCML ウィジェットには適用されません。

7.9 Web Intelligence コンテンツをドラッグアンドドロップする

コンテンツを追加するアプリケーションが開いていることを確認してください。

Web Intelligence からウィジェットを作成したら、チャートまたはテーブルなどの Web Intelligence コンテンツを、Microsoft Excel、Word、PowerPoint、または Outlook にドラッグできます。Web Intelligence オブジェクトは、ユーザがそのデータを追加した時にデータのスナップショットを提供します。オブジェクトは静的で、データソースにはリンクされていません。


- 1 システムトレイから、[ウィジェット] を右クリックして、[ドキュメント一覧エクスプローラ] を選択します。
[ドキュメント一覧エクスプローラ] ウィンドウの [エクスプローラ] ペインに、ドキュメントの一覧が表示されます。
- 2 [エクスプローラ] ペイン内のフォルダを参照して、Web Intelligence ドキュメントが含まれるフォルダを開きます。
フォルダには、システムで使用可能な Web Intelligence ドキュメントがすべて表示されます。
- 3 ドキュメント一覧エクスプローラの右のペインから、Web Intelligence ドキュメントを開きます。
[Web Intelligence ドキュメントビューア] が表示されます。
- 4 コンテンツを選択し、それを Microsoft Word、Excel、PowerPoint または Outlook の開いているコピーにドラッグします。

7.10 Web Intelligence ウィジェットのコンテンツをコピーして貼り付ける

Web Intelligence からウィジェットを作成したら、チャート、表、またはセルのテキストなどの Web Intelligence のコンテンツを Microsoft Office アプリケーションや、メモ帳などのクリップボードデータとしてコンテンツを保持できるあらゆるアプリケーションにコピーして貼り付けることができます。


- 1 ウィジェットを右クリックし、[コピー] を選択します。
- 2 開いている Microsoft Office アプリケーションで、右クリックして [貼り付け] を選択します。

7.11 Web Intelligence ウィジェットのプロンプトを表示して設定する

- 1 Web Intelligence ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、ウィジェットメニューから、プロパティボタン () をクリックします。
- 2 [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスで、[プロンプト] をクリックします。
すべての利用可能なプロンプト値が一覧表示されます。
- 3 [プロンプト値] をクリックします。
[プロンプト値の指定] ウィンドウが表示されます。
- 4 [プロンプト値の指定] ウィンドウで、値を入力し [OK] をクリックします。

7.12 Windows サイドバーにウィジェットを追加する

Microsoft Windows Vista または Windows 7 で Windows サイドバーを使用している場合、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームのウィジェットを Windows サイドバーに追加することができます。まず、使用しているコンピュータにウィジェットをエクスポートしてから、Windows サイドバーにガジェットとしてウィジェットを追加します。


- 1 ウィジェット上にマウスカーソルを移動して、[ウィジェット] メニューから、[プロパティ] ボタン () をクリックします。
- 2 [ウィジェットのプロパティ] ダイアログボックスの [エクスポートオプション] の下で、[保存] をクリックします。
- 3 [ウィジェットの保存] ダイアログボックスで、保存場所に移動し、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。

ウィジェットが保存され、Windows サイドバーに追加できるようになります。

7.13 ウィジェットビューの使用

常に表示しておく必要のない多くのウィジェットがある場合、ウィジェットビューを使用して、現在必要ないウィジェットを完全に削除することなく、必要なウィジェットのみを一度に表示することができます。ウィジェットビューでは、デスクトップに表示するウィジェットをいつでも管理することができます。ウィジェットをグループ化し、ビューとして保存すれば、必要に応じてビューを切り替えられます。現在のビューに含まれないウィジェットは、表示されていなくても接続されたままになります。ビューバーは、ビューを簡単に作成、編集、切り替える方法を提供します。


7.13.1 ビューを作成する

- 1 ウィジェットボタン()を右クリックして、[ビューの追加]をクリックします。
- 2 ビューバーで、ビューの名前を入力し、[ビューの追加] をクリックします。
空のビューがビューバーに追加されます。


いったんビューを作成すると、ビューバーを使用して、名前の変更、削除、ビューへのウィジェットの追加ができます。

7.13.2 ウィジェットビューを変更する

ウィジェットビューが複数ある場合、現在必要のないウィジェットの接続を切断したり、削除したりすることなく、簡単に異なるグループのウィジェットに切り替えることができます。

- ・ ウィジェットボタン()を右クリックして、[ウィジェットビュー] をポイントし、表示するビューの名前をクリックします。




7.13.3 ビューバーの表示/非表示を切り替える

- ・ ウィジェットボタンを右クリック()して、[ウィジェットビュー] をポイントし、[ビューバーを表示する] または [ビューバーを非表示にする] をクリックします。
ビューバーはデスクトップに表示され、使用可能な各ビューのタブやビューを作成するタブが表示されます。

7.13.4 ビューバーを使用する

ビューバーを表示した後、ビューバーを使用して、新しいビューの作成、削除、既存のビューへのウィジェットの追加ができるようになります。

- ・ ビューバーで、次のいずれかを実行します。


オプション	説明
別のビューに切り替える	表示するタブをクリックします。
ビューを作成する	[ビューの追加] タブをクリックして、ビューの名前を入力し、[ビューの追加] をクリックします。
ビューの名前を変更する	ビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ビュー名の変更] をクリックします。新しい名前を入力し、Enter キーを押します。
ウィジェットをビューに追加する	<p>ビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ウィジェットを開く] をクリックします。ビューに追加するウィジェットを選択します。</p> <p>注 一覧で使用可能なウィジェットには、デスクトップに追加されているウィジェットのみが含まれます。ウィジェットを作成するには、ウィジェットボタン () を使用して、デスクからウィジェットを開くか、ドキュメント一覧エクスプローラまたは [コンテンツの検索] オプションにアクセスします。</p>
ビューを削除する	削除するビューのタブの横にある矢印をクリックして、[ビューの削除] をクリックします。
ビューバーを移動する	移動ボタン () をクリックし、新しい場所にバーをドラッグします。
ビューバーを閉じる	閉じるボタン ()。

RSS フィードの使用

RSS は、コンテンツの変更を定期的に配信するためのフォーマットです。購読したサイトから更新されたコンテンツを取得し、デスクトップに概要の通知を配信することにより、情報をいつも入手することができます。


RSS フィードの購読にウィジェット機能を使用すると、RSS の URL でエントリが投稿されると、それらが RSS の受信トレイに表示されます。新しいエントリが受信トレイに届くと、デスクトップメッセージでも、新しいエントリを受信したことが通知されます。RSS の受信トレイとデスクトップメッセージの両方に、新しいアイテムのタイトルが含まれます。タイトルをクリックするとサイトに移動し、完全なエントリを読むことができます。

8.1 RSS フィードを購読する

- 1 ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
 - 2 [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、フォルダを選択し、[新しい RSS フィード]をクリックします。
 - 3 [RSS フィードの購読] ダイアログボックスで、RSS の URL を入力し [購読] をクリックします。
- フィードがフィード一覧に追加されます。


8.2 RSS フィードを最新表示する

RSS フィードを購読したら、通常、サイトのコンテンツが変更された場合はいつでも自動的に更新されます。ただし、接続が失われていても、更新が配信されない可能性があります。コンテンツを最新にするため、フィードを更新することができます。

- 1 ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
 - 2 [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、最新表示する RSS フィードを選択し[最新表示]をクリックします。
- RSS フィードのコンテンツが更新されます。

8.2.1 RSS 受信ボックスから RSS フィードを削除する

RSS アイテムがRSS 受信ボックスに配信された場合、タイトルをクリックすると完全なエントリを読むことができます。アイテムを読み終わったら、そのアイテムを受信ボックスから削除できます。

- 1 ウィジェットボタンを右クリック()を Windows タスクバーで右クリックして、[RSS 受信ボックス]を選択します。
- 2 [RSS 受信ボックス]ダイアログボックスで、削除する RSS フィードアイテムを選択し、[削除]をクリックします。選択したアイテムが一覧から削除されます。

より詳しい情報

情報リソース	場所
SAP BusinessObjects 製品情報	http://www.sap.com
SAP ヘルプ ポータル	<p>http://help.sap.com/businessobjects/ へアクセスし、[SAP BusinessObjects Overview] サイドパネルから [All Products] をクリックします。</p> <p>SAP ヘルプ ポータルでは、すべての SAP BusinessObjects 製品とそのデプロイメントについて扱った最新のドキュメンテーションにアクセスできます。PDF 版またはインストール可能な HTML ライブラリのダウンロードが可能です。</p> <p>一部のガイドは SAP サービス マーケットプレイスに格納されており、SAP ヘルプ ポータルからは入手できません。ヘルプ ポータルのガイド一覧で、そのようなガイドには SAP サービス マーケットプレイスへのリンクが付いています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。</p>
SAP サービス マーケットプレイス	<p>http://service.sap.com/bosap-support > ドキュメンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インストール ガイド: https://service.sap.com/bosap-instguides ・ リリース ノート: http://service.sap.com/releasenotes <p>SAP サービス マーケットプレイスには、一部のインストール ガイド、アップグレードおよび移行ガイド、デプロイメント ガイド、リリース ノート、サポート対象プラットフォームに関するドキュメントが格納されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。SAP ヘルプ ポータルから SAP サービス マーケットプレイスにリダイレクトされた場合は、左側のナビゲーション ペインのメニューを使用して、アクセスするドキュメンテーションが含まれているカテゴリを探します。</p>
Docupedia	<p>https://cw.sdn.sap.com/cw/community/docupedia</p> <p>Docupedia は追加のドキュメンテーションリソース、協調的なオーサリング環境、および対話型のフィードバックチャネルを提供します。</p>

情報リソース	場所
開発者向けリソース	https://boc.sdn.sap.com/ https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary
SAP Community Network 上の SAP BusinessObjects に関する記事	https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles これらの記事は、以前はテクニカル ペーパーという名称でした。
ノート	https://service.sap.com/notes これらのノートは、以前はナレッジ ベース記事という名称でした。
SAP Community Network 上のフォーラム	https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums
トレーニング	http://www.sap.com/services/education 弊社では、従来のクラス型の学習から目標を定めた eラーニング セミナーまで、学習ニーズや好みの学習スタイルに合わせたトレーニング パッケージを提供しています。
オンライン カスタマー サポート	http://service.sap.com/bosap-support SAP サポート ポータルには、カスタマー サポート プログラムとサービスに関する情報が含まれています。また、さまざまなテクニカル情報およびダウンロードへのリンクも用意されています。保守契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。
コンサルティング	http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting コンサルタントは、初期の分析段階からデプロイメントプロジェクトの実現まで一貫したサポートを提供します。リレーショナル データベースと多次元データベース、接続、データベース設計ツール、カスタマイズされた埋め込みテクノロジーなどのトピックに関する専門的なサポートを行います。

索引

A

Adobe PDF 17

B

bidml ファイル 27
Business Intelligence コンテンツ、アクセスする 17

C

Crystal Reports 17

D

Dashboard Design
リポジトリからのウィジェットの作成 21
ローカルファイルからのウィジェットの作成 21
Dashboard Design モデル、コンテンツへのアクセス 17
Dynpro アプリケーション
ウィジェットの作成 23
コンテンツへのアクセス 17

M

Microsoft Excel 17
Microsoft PowerPoint 17

R

RSS フィード
概要 33
購読 33
最新表示 33
受信ボックスからアイテムを削除 34

S

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
接続 9
接続認証情報 10
SAP NetWeaver Application Server
接続 9
接続認証情報 11

W

Web Dynpro アプリケーション 17
ウィジェットの作成 23
Web Intelligence、ウィジェット、Microsoft Outlook オブジェクト、作成 22
Web Intelligence ウィジェット、最新表示 28
Web Intelligence ウィンドウ、使用 22
Web Intelligence ドキュメント
コンテンツへのアクセス 17
Windows サイドバー、ウィジェットの追加 28, 29

X

XBCML ウィジェット
デスクトップに追加 23

う

ウィジェット
Dashboard Design ファイル、ローカルからの作成 21
Dashboard Design、リポジトリから作成 21
Web Dynpro アプリケーションから作成 23
Web Intelligence、作成 22
移動 25
インストール 7
エクスポート 27
概要 5
管理 25
コンテンツの作成 5
サイズ変更 25
作成 21
[常に手前に表示]オプション 25
電子メールの送信 27
閉じる 26
名前の変更 27
表示 25
開く 26
他のユーザとの共有 27
常に手前に表示 25
ウィジェットの移動 25
ウィジェットのエクスポート 27
ウィジェットの共有 27
ウィジェットのサイズ変更 25
ウィジェットの名前変更 27

ウィジェットビュー

ウィジェットを追加する 31
概要 30
切り替え 30
削除 31
作成 30
メニューバー、使用 31
メニューバー、表示または非表示にする 30
ウィジェットビューの名前変更 31
ウィジェット履歴
からウィジェットを開く 26
クリア 27
ウィジェットを閉じる 26
ウィジェットを開く 26

け

検索結果、管理 18

こ

コンテンツ
ウィジェット用に作成 5
検索結果の管理 18
リポジトリの検索 17
リポジトリの参照 18
コンテンツへのアクセス 17

さ

サーバ
ログイン 17
サーバ接続、管理 9

し

自動ログイン 17

せ

接続認証情報
SAP BusinessObjects ビジネスインテリジェンスプラットフォーム 10
SAP NetWeaver Application Server 11

て

データの最新表示、Web Intelligence ドキュメント 28
電子メールウィジェット 27

に

認証情報、接続
SAP BusinessObjects ビジネスインテリジェンスプラットフォーム 10
SAP NetWeaver Application Server 11

ひ

ビュー、ウィジェット
ウィジェットを追加する 31
概要 30
切り替え 30
削除 31
作成 30
メニューバー、使用 31
メニューバー、表示または非表示にする 30

ふ

ファイル、保存されたファイルからウィジェットを開く 26

り

リポジトリ
検索 17
コンテンツの参照 18
ログイン 17
リポジトリ接続、管理 9